

# 日本農業賞 個別経営の部

## 春見ライス(美濃加茂市)優秀賞

意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展に貢献している個人や組織を表彰する「第53回日本農業賞」で、美濃加茂市蜂屋町上蜂屋の春見ライスが個別経営の部優秀賞に輝いた。13日に関市若草通のJAめぐみの本店で表彰式があり、春見秀則社長(54)が「地域の農業者と一緒に受けた。賞が地域の農業の発展の一助になれば」と喜びを語った。

(高橋友基)

### 多角化、稲刈り受託で地域貢献

日本農業賞の個別経営の部優秀賞に輝いた春見ライスの春見秀則社長＝関市若草通、JAめぐみの本店

JA全中などが主催。春見ライスは2004年に法人化し、作付面積約35haで米を中心に栽培し、ブドウ

今回、多角化で経営基盤を確立した上で、約50ha分の稲刈りを受託するなど地域の農家を支えている。10年に若手農業者でつくる「みのかもファーマーズ倶楽部」を立ち上げ、勉強会や情報交換をし、新規就農者の育成にも取り組んでいる。効率化や雇用環境の整備を進め、最新の農業機械を導入するなどスマート農業技術も活用しており、こうした取り組みが評価された。



昨年9月のJA岐阜中央会などの審査で県代表に選ばれ、1月の最終審査で受賞が決まった。表彰式では、JA岐阜中

央会の川村規明生参事が「経営が先進的で優れている」と、春見社長に賞状を手渡した。JAめぐみの山内清久代表理事組合長は「活躍は地域にとって重要な役割。県をリードする組織として頑張ってほしい」とたたえた。

春見社長は「農家が農業を長く続けられるよう地域ぐるみで支援に取り組みたい」と話した。